

はじめに

平成28年度の我が国経済は、アベノミクスの取組みの下、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続きました。平成29年度についても、米国の新大統領の政策やそれによる日本への影響に対する不透明感はあるものの、基本的には雇用・所得環境が引き続き改善し、経済の好循環が進展する中で、民需を中心とした景気回復が見込まれています。

そのような中、神戸港の平成28年のコンテナ取扱個数は、前年比3%増（神戸市速報値）と3年連続で増加し、阪神・淡路大震災以降、前年に引き続き最高個数を更新、とりわけ内貿コンテナ貨物取扱個数が11%増と2桁の伸びと好調だったことは、政府はじめ神戸港関係者の皆さまによる集荷、創貨、競争力強化の具体的な成果の現れであります。今後とも、さらなる国際コンテナ戦略施策の推進により、益々の港勢拡大が期待されるものと考えています。

さて、幣協会における平成28年4月～12月の運営状況は、周辺建設工事終了に伴う利用者減の影響等もあり、食堂事業では、店舗当たりの売上は、前年同期比0.1%の減少、コンビニ事業では、1.3%の減少となっています。

本年1月にピア六甲店の全面改装を実施したところ、売上、客数とも改装前に比べ順調に伸びていますが、今後とも利用者へのサービス向上を図るため様々な創意工夫に取り組むとともに、前年度に引き続き光熱水費の縮減、食材の一括購入によるコスト削減等への取り組みも進め、更なる収支改善を図ってまいります。

また、住宅運営では、国産波止場共同住宅の入居要件緩和に伴う入居者増が見られるとともに、平成29年度からは、浴槽、給湯器の協会予算による設置を順次行い、一層の入居者増に取り組めます。

平成29年度は、神戸開港150年記念事業が神戸市、港湾関係団体等により盛大に執り行われます。特に幣協会が6月に入居予定の総合福利厚生施設「神戸ポートオアシス」は、港湾地域、港湾労働者のシンボリック施設として神戸市が建設し、指定管理者として幣協会に運営を任されることになりました。

特に現在のピアハウス「京橋」と「はとば」を廃止統合し、神戸ポートオアシス1階にオープンするピアハウス「オアシス」は、施設の運営時間と連動し営業することとしています。港湾労働者の皆さまをはじめ広く一般市民の方々が利用できるような運営に努めてまいります。また、最大400名収容の多目的のホールでは、各種会議の外、音楽コンサート、演劇など多くの方々にご利用

いただけるよう多彩な事業展開を行う予定です。詳細は、追ってご紹介しますが、港湾労働者の皆さまへの「くつろぎ空間」をご提供したいと考えておりますので、ご支援等よろしく願いいたします。

今後とも職員が一丸となって事業運営の効率化と創意工夫に努めるとともに、利用者サービスの向上に取り組んでまいりますので、これまで以上に、関係各位のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

1. 施設管理運営事業

(1) 総合厚生（福祉センター）施設の管理運営

現在、神戸市が建設中の神戸港総合福利厚生施設「神戸ポートオアシス」を平成29年6月から、弊協会が指定管理者として管理運営を行います。

当該施設は、5階に協会事務局及び会議室、4階は事務室及び会議室、2階・3階を多目的ホール、そして1階には、ピアハウス「オアシス」を営業いたします。なお、多目的ホールについては、各種会議の外、音楽コンサート、演劇など多彩な事業を計画しております。

「神戸ポートオアシス」のオープンに伴い、中央福祉センター（食堂・売店・喫茶・会議室・テニスコート）については廃止し、併せて協会事務局を移転いたします。

また、第一福祉センター（食堂・売店・喫茶・会議室・浴場）については、食堂・売店・喫茶の営業を終了いたしますが、会議室・浴場については引き続き運営を行ってまいります。

(2) 港湾労働者休憩所（ピアハウス）の管理運営

平成29年6月下旬(予定)には、ピアハウス「京橋」及び「はとば」をピアハウス「オアシス」に廃止統合いたします。これにより、兵庫ふ頭から六甲アイランドまでの地域に設置するピアハウスは9ヶ所となります。

特に「オアシス」は施設の開館時間に連動し、平日は午前8時～午後8時迄営業、土曜日・休祝日についても営業いたします。さらに「オアシス」では新たなメニューの提供、会議室等へのケータリングサービスの実施も予定しており、港湾労働者はじめ多くの市民の皆様にご利用いただきます。

食堂運営は、協会における中核的事業であり、今後とも利用者のニーズに対応したきめ細かなサービスを行い、安定的な運営の確保に一層努力してまいります。

なお、美化・清掃などの環境の保全・整備に努めるとともに、緊急時の対策として、全ピアハウスにおいて災害対応自動販売機等を設置し、災害発生時用の備蓄飲料用として対応いたします。

(3) コンビニエンスストア（ピア）の管理運営

港湾の364日24時間荷役に対応するため、神戸港の西部・東部地区に拠点設置している2ヶ所のコンビニエンスストアについて、今後とも安定的運営に努力してまいります。

なお、美化・清掃など環境保全・整備への取組みなどきめ細かなサービスを通じ、より一層の利用促進に努めてまいります。

また、神戸港の中央部ポートアイランド地区については、軽食や飲み物などを提供する自動販売機を設置し、24時間対応のイトインコーナーとして運営してまいります。

(4) 住宅施設の管理運営

鈴蘭台一ツ楯山共同住宅（196戸）、国産波止場共同住宅（165戸）及びコーポ西町共同住宅（40戸）の世帯者用共同住宅について、より快適な生活・住環境を提供するため、補修等維持管理に万全を期すとともに、より一層の利用促進に努めてまいります。

なお、国産波止場共同住宅については、平成27年10月から入居要件の緩和を実施しており、今後とも利用促進を図り、入居率・収益性の向上に努めてまいります。特に平成29年度からは浴槽・給湯器を協会予算で順次設置することとしており一層の利用促進を図ります。

(5) 簡易宿泊所の管理運営

神戸港湾寮（57室）・神戸みなと寮（12室）及び第一福祉センター（35室）の簡易宿泊所の管理運営を行います。

(6) 港湾労働者休憩所の管理運営

本年度も神戸市からの業務委託を受けて、港湾労働者休憩所18ヶ所（兵庫、新港、摩耶、ポートアイランド及び六甲アイランドの各地区に設置）の清掃、冷暖房設備の運転・維持管理及び湯茶の提供等の管理運営を行うことにより、港湾関係労働者の福利厚生への推進に努めてまいります。

2. 施設整備事業

(1) 港湾厚生施設整備事業

既存厚生施設について、本年度も施設の整備・改修及び維持保全に努めてまいります。

(2) 日港福助成施設整備事業

施設整備事業として、一般社団法人日本港湾福利厚生協会からの助成を受けて本年度は次の整備事業を実施し、港湾関係労働者の生活・住環境の改善を図ってまいります。

<施設整備名>

- ・鈴蘭台一ツ楯山共同住宅1～6棟共用通路防水工事
- ・国産波止場共同住宅電気幹線改修工事
- ・神戸ポートオアシス食堂 喫茶厨房機器及び排気フードダクト整備

3. 助成・補助等事業

(1) 契約保養施設利用助成

福利厚生の一環として、契約保養施設（全国142ヶ所）の利用に対して助成を行うことにより、神戸港で働く方やそのご家族の余暇の活用を促し、港湾関係労働者の福利厚生の推進に努めてまいります。

(2) 各種技能訓練への補助

公益社団法人神戸港湾教育訓練協会及び港湾労災防止協会兵庫県総支部が実施する各種技能訓練への補助を通じて、港湾関係労働者の技能の向上を側面的に支援し、神戸港における港湾運送事業の発展に努めてまいります。

(3) 港湾殉職者慰霊祭の実施

本年度も第39回港湾殉職者慰霊祭を港湾殉職者顕彰碑運営委員会と共催の上例年どおり実施し、殉職者の慰霊とともに、広く労働災害防止意識の高揚に努めてまいります。